

核兵器禁止条約採択から6年、条約参加署名は130万を越えました=7月5日



市民とともに、あったかい社会へ

ロシアのウクライナ侵略から1年半、今も戦争はつづいている。ロシアは核でおどし、食料不安をあおっている。こんなこと許せるはずがない。戦争やめよ、いのちを守れ、核兵器なくせ、政治を変えようと立ち上がる人々。手をつなぎ、平和と希望あふれるあったかい社会をともにつくります。

国民の声を聞かない 岸田政権と対決

紙議員は、本会議でマイナンバー運用停止、インボイス増税の中止、福島原発汚染水の海洋放出の撤回、予備費を活用した軍拡財源づくりをやめるよう求めました。



本会議質問=6月21日

悪法に対する主要政党の態度

○…賛成・×…反対	共産	立民	自民	公明	維新	国民
軍拡財源法	×	×	○	○	×※	×※
軍需産業支援法	×	○	○	○	○	○
改悪入管法	×	×	○	○	○	○
原発推進等5法	×	×	○	○	○	○
改定マイナンバー法	×	×	○	○	○	○
4党LGBT法	×	×	○	○	○	○

※法案には反対したものの、大軍拡をあり、法案の強行にも手を貸す

酪農の灯を消すな！ 運動におされ酪農支援に乗り出す

「酪農ヤバイです」の訴え。150名が参加した「畜産・酪農の危機打開を求める院内集会」の参加者を代表して野村哲郎農水相へ要請。政府は3月に不十分ながら、「畜産・酪農緊急対策パッケージ」を発表しました。紙議員はさらなる支援を求めています。



野村農水相に「畜産・酪農の緊急対策」を要請=2月14日



あ～おいしい。もう1杯

原発汚染水は海洋放出するな！ 繰り返し要求

太田房江経産副大臣に、原発汚染水の海洋放出撤回を求める=7月19日



マイナンバーカードを強制するな！ 健康保険証を残せ！

マイナ保険証は、医療・投薬情報の誤登録が続出。党議員団は、「保険証廃止撤回・マイナンバー問題追及委員会」を立ち上げました。紙議員は、本会議で命にかかわる問題なのに、一方的にマイナ保険証に「一本化」してはならない、健康保険証の廃止は中止すべきだと追及。団体を訪問し、対話を広げています。



北海道保険医会と懇談=7月13日

食料主権を軸に 「ひとと環境にやさしい農政へ」



党議員団プロジェクトチーム会合=3月13日

食料・農業・農村基本法の見直し議論が始まりました。世界的に進む食料危機。日本の食料自給率は38%にすぎず、輸入に依存する食料農業政策のあり方が問われています。党議員団は、農業基本法検証プロジェクトチームで議論を開始。紙議員は、食料自給率の向上や食料安全保障がアメリカの圧力とメガFTAを進めた安倍政権によって、握りつぶされた歴史的な経過を示しながら、食料主権を軸に「ひとと環境にやさしい農政へ」の転換を求めました。

アイヌ民族の強制移住の歴史を知る 新資料を発見

2022年、独立行政法人・家畜改良センター新冠牧場(北海道新ひだか町)にアイヌ民族に関する新資料があることがわかりました。紙議員は、永久保存を提案し国立公文書館への移管が決まりました。強制移住や同化政策の歴史を伝える貴重な資料です。



ラボロアイヌネイション・差間正樹会長と=5月27日

ゲノム編集トラフグが ふるさと納税の返礼品に

京都府宮津市がゲノム編集トラフグをふるさと納税の返礼品にしています。紙議員は、「食の安全・安心への不安が広がっている。しかも、陸上養殖施設からの排水液やトラフグの精子の排出は、生物多様性に影響する」と指摘。BSE(牛の神経異常)のように疑わしきは流通させない慎重な対応を求めました。

生きづらい社会を変えたい 科学的社会主義に注目！

民青同盟北海道委員会のシール投票に参加し、懇談しました。コロナを経験し社会のあり方、科学的社会主義への関心が広がっています。



シールアンケートに取り組んだ紙議員と民青のみなさん=7月12日

ODA大綱の見直しに当たり ジェンダー主流化を提案



新婦人北海道本部のみなさんから要請=5月24日

紙議員は、「フェミニスト外交政策」勉強会に参加し、NPO団体とも懇談。ODA大綱(開発協力大綱)の見直しに際し、ジェンダー主流化を具体化するために数値目標を設定することや、LGBTQや同性婚制度を位置付けるよう提案しました。

JR北海道の在来線の存続を

紙議員は、豪雨災害で不通になった根室線の富良野-新得間が廃止されようとしている問題で、新得町の「根室本線の災害復旧と存続を求める会」、富良野市の「富良野鉄道未来の会」を訪問し懇談。国やJR北海道に路線の存続を求めました。



沖縄のピーファスによる飲用水汚染 米軍基地の調査を求める

発がん性の疑いがある有機フッ素化合物PFAS(ピーファス)が各地で検出され問題になっています。紙議員は、沖縄県の米軍嘉手納基地が汚染源である疑いがあると、立入調査を求めました。政府はアメリカと連携すると言いながら、泡消火剤の使用実態の確認もしていないことが、明らかになりました。

嘉手納基地周辺有機フッ素化合物データ [単位:ng/L]

